

医学(感染症)書/一般教養書
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

コロナ後の明日 - その光と影 - 後編

A5判・並製本 / 348頁 / 定価: 4290円(本体3900円+税)

吉成 河法吏 [著]



本書は、新型コロナパンデミックの記録の本邦初、誰も成し得なかった集大成の完結編

【著者紹介】吉成 河法吏 (よしなり かおる)

1953年福島県町野生れ、福島県立白河高校卒業、東京大学卒業、理学博士(東京大学、生物化学)

◎著書 / 新型コロナとの死闘Part 1~4、
評伝カタリン・カリコ、カリコ博士の愛したmRNA
[以上、医薬経済社]
コロナ後の明日~その光と影~(前編)
[一粒書房]

ハンガリー生れのカリコ博士は、2023年ノーベル生理学・医学賞を受賞した。受賞発表の2日後、10月4日から、ハンガリー大使館主催のパネル展「不屈の精神と貢献 カリコ・カタリンの功績」が日本科学未来館で開催された(写真)。ハンガリー大使館のノーベル賞予測は的中していた。

本書は、ワクチンの大家、中山哲夫特任教授(北里大学)、薬物送達システムのパイオニア、赤池敏宏東工大名誉教授始め錚々たるメンバー12名から、寄稿文を頂き、コロナ万華鏡とした。そのコロナ万華鏡は、魚眼的広角的にその風景を写しだし、そして、プリズム的に分光化された世界を描き出した。コロナ禍における想いの「光と影」が交錯しつつ、新型コロナパンデミックの激流がプロジェクションマッピングされた。また、女性研究者の受難と台頭では、DNA二重らせん構造の発見者としては日の目を浴びなかったロザリンド・フランクリンを軸に、受難の歴史を紐解きながら、カリコ博士や岩崎明子博士ら、輝ける女性研究者の台頭を綴った。



本書から抜粋

2023年10月4日(ハンガリー大使館主催のパネル展(会場:日本科学未来館)、ハンガリー特命全権公使、臨時代理大使センドレイ・ティボル・チャバ氏と筆者)

本書は、新型コロナパンデミックの記録の本邦初、誰も成し得なかった集大成の完結編

《目次より》

第1章 はじめに	第8章 COVID-19 治療薬
第2章 国内外状況	第9章 ワンヘルスアプローチ
第3章 女性研究者の受難と台頭	第10章 院内感染対策の今後
第4章 SARS-CoV-2 ウイルス	第11章 次期パンデミックへの準備
第5章 COVID-19	第12章 生命の起源:RNAの理解に向けて
第6章 ロングCOVID	第13章 コロナ万華鏡
第7章 ワクチンの光と影	第14章 おわりに

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行:一粒書房 TEL.0569-21-2130
			吉成 河法吏[著] コロナ後の明日 - その光と影 - [後編] A5判・並製本 / 348頁 定価: 4290円(本体3900円+税)
		冊	ISBN978-4-86743-256-3 C0047 ¥3900E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い